

交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後、1ヶ月以内に写真データと一緒にメールで提出してください。



あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	ウィーン経済経営大学
留学先での所属学部・研究科:	
留学先での在籍身分:	学部生
留学期間:	2023年9月～2024年6月
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3年
帰国日:	6月27日
本報告書記入日:	2024/7/4

1. 留学先大学について

1-1	受入許可書(Acceptance Letter)を貰えた日	3月30日
	参加必須のオリエンテーション日	9月14,15日
	学期:	① 10月2日～2月2日
		② 3月4日～6月28日
③ 月 日～月 日		
④ 月 日～月 日		
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入してください。	マーケティングの授業が豊富
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	特になし
	勉強面でのサポート:	特になし
	精神面でのサポート:	特になし
	住居・生活面でのサポート:	在留許可申請の準備での書類チェックがあった。
	課外活動のサポート:	特になし
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	クリックで別シートへ

2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	地域によって治安が大きく変わるため、治安について確認することが大事だと思う。
-----	--------------------------------------	--

3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	インターネット使用料は家賃に含まれていた。時々接続が悪くなることもあったが、ほとんど問題はなかった。
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	大学内のWi-Fiは非常に使いやすく、VPNの使用もスムーズだった。
3-2	医療について	
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	留学中病院には一度も行かなかった。ウィーンは朝晩と昼の気温差が大きいため、それによる体調不良にならないように、気温の変化には気を付けた。
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	在留許可を申請するためにもersteという現地の銀行の口座を開設した。学生用口座を開設し、WISEを利用して日本から送金した。

4. 経費について(奨学金、留学費用)

4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	JASSO(日本学生支援機構)
	支給額(円/月):	8万円/月
	その他(渡航費等の支給):	12万円(渡航準備費)
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	24万円(往復)
	住居費:	(月額) 97,000円 × (留学月数) 10ヵ月 = 970,000円 (565ユーロ:1ユーロ=172円)
	食費:	(月額) 35,000円 × (留学月数) 10ヵ月 = 350,000円
	保険料:	9,000円/月 × 9ヵ月 = 81,000円(現地の保険) + 10万円(海外旅行保険) = 18万円
	その他:	100万円(雑費、交友費、旅行費)
	合計(留学期間全体の費用):	250万円

5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	接客で不愛想だと感じることも多かった。時間の流れが遅く、ゆったりしている。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	ほとんどなかった。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	していない。
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	外国人に無関心でフレンドリーな印象はなかった。

6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	就職活動はしていない。

7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	ウィーンの散歩道(Webサイト)、インスタグラム
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	葉やスキンケア系で合う合わないがある人は持参したほうが良いと思う。
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	留学中に日本では経験できないことを経験したり、交友関係が広がったりしたことで、より自分を知ることができた。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:() 点 → 帰国後:() 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	在留許可申請に関して、事前に留学先大学で書類チェックを行ってくれたが、必要だと言われた書類が本当必要ではないなど、混乱したことが多かった。また、役所に在留カードを受け取りに行く際、事前に言われていた書類のほかに必要な書類があって、受け取りが1か月延びてしまった。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	留学前には、先輩とのつながりや神戸大学に来る交換留学生との交流の機会を提供していただいたことがよかった。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	薦める。海外でしかできない経験や人脈ができて、視野が広がり人間として成長できたから。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	4
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	4
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	3
	・全体として留学に係る費用は安かったかと思いい、満足しましたか	2
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	5
・留学全体の総合的な評価	5	

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)		
<p>私が留学をしてよかったと思う理由は3つあります。一つ目は、自分自身についてより理解できたことです。留学中は、日本にいるときよりも多くの人と交流したり、自分と全く異なるバックグラウンドを持つ人々と交流したりすることで、自分と他人との違いから自分がどんな人間なのかを今までより知ることができました。自分を理解できると、自分の行動や感情の根拠を自分の中に見つけることができ、興味深く感じています。今後も新たな環境に身を置くなどによって新たな人との交流が生まれるときに、その機会を生かしたいと考えようになりました。</p> <p>二つ目は、海外で一年間生活することで、精神的にたくましくなったことです。今までとは違った環境で、日本より不測の事態が起きやすく、文化の差を感じながらも、自分で対応し、解決していくことばかりで、予期しないことに対して焦ったり動揺したりすることが減ったと感じています。状況を冷静に受け止めて分析し、今後の計画を立てて対応できていると思います。今後も様々な経験を通して、対応力や臨機応変さを磨いていきます。</p> <p>三つ目は挑戦するきっかけになったことです。留学中は、気持ち的にも時間的にもゆとりがありました。日本で忙しく生活していたころには行動を起こすことができずにいたような興味のある新たな分野の勉強や、経験に挑戦しようと思えるようになりました。日本に帰国してから、自分の興味を実践するきっかけになったため、様々な勉強や活動に積極的になりたいです。</p> <p>留学を考えている方に伝えたいことは、経験は財産だということ、留学を通して改めて感じたことです。海外での新たな生活で、慣れないことや戸惑うことが非常に多くありましたが、その中で学んだことや感じたこと、身につけた力は、自分が想像していたものよりも大きかったです。また、普段の生活だけでなく、交換留学として海外の大学の専門的な授業を受けて、海外の教育に触れてみたり、他国の学生と交流することで、海外との心理的距離が縮まったりすることで、将来のキャリア選択に大いに影響を与えようと思います。ぜひ挑戦してほしいです。</p>		

9. 留学経験の共有について		
9-1	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
9-2	あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-3	学部のウェブサイトに報告書を記載します。留学を検討している経営学部生があなたに連絡を取る事に同意しますか？	はい

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数/週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	International Human Resource Management	Mihaela Dimitrova	2.5h×9回	6	英語	27	最終試験20%、ケーススタディー20%、グループレポート20%、グループプレゼン20%、授業参加20%
2	Sustainable Tourism	Michal Lemanski	7.5h×3回	6	英語	26	個人レポート20%、授業参加30%、グループレポート・プレゼン50%
3	Global Organization Design	Julian Jonathan Markus	2h×8回	6	英語	30	授業参加20%、ケーススタディー40%、最終レポート40%
4	Effects of Inequality on Social, Economic, and Environmental Sustainability	Simon Sturn	3.5h×7回	6	英語	30	予習問題10%、小テスト20%、グループプレゼン40%、他グループのプレゼンへのコメント10%、授業参加20%
5							
6							
7							
8							
9							
10							

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

クラスのサイズはどの授業も30人程度で、クラス全体やグループでのディスカッションや意見交換が非常に多い。教授が授業で話した内容について、その都度クラス全体でディスカッションを行い、どんどん話が広がっていったり話が変わっていったりしていくため、タイミングを逃さずに発言する必要がある。成績評価については、どの授業においても授業参加や各課題に分散しており、どの活動も気が抜けないという印象だった。

International Human Resource Management: 海外支店の組織構成や、駐在職員の選定、サポートについてなど、国際的な人事に関する全般的な内容を扱う授業。

Sustainable Tourism: 主にホテル業界の現状を学んだ後、グループごとにホテルにインタビューを行い、各ホテルのビジネスモデルや成長計画についてまとめて発表する。実際にホテルにインタビューするなど、非常に実践的。

Global Organization Design: ケーススタディーを交えながら、組織編成に関する要素を学んでいき、最後にグループでシミュレーションツールを使用したケーススタディーを行い結果をまとめてレポートを提出した。選択した組織構成がどのように企業の利益や従業員に影響を与えているのかを数値として可視化できて、勉強になった。

Effect of Inequality: 不平等に対する様々な測定方法や、不平等の現状、不平等が社会や環境などに及ぼす影響について学ぶ授業。